

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立木本高等学校 (全日制))

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒育成する学校 ・地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、地域に信頼される学校
(2) 育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や目標をしっかりと持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒。 ・学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。 ・地域に誇りや愛着を持ち、地元や県内、国内外で活躍する力を持つ生徒。
ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ・授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員。

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>【生徒】 進路実現に向けて学力向上や進路指導に力を入れてほしい。</p> <p>【保護者】 毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。</p> <p>【進学先】 目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。</p> <p>【就職先】 素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。</p> <p>【地域社会】 高校の力を活かして、地域を活性化したい。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>【保護者】 子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校づくりを進めてほしい。</p> <p>【中学校】 卒業生や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。</p> <p>【地域社会】 地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。</p> <p>【進学先】 基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【就職先】 社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>【保護者】 本校の教育活動に理解と協力をお願いし、特に家庭でのしつけと学習環境確保に努めてほしい。</p> <p>【中学校】 基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【地域社会】 生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p> <p>【進学・就職先】 体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p>
(3)前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した時に、学校を避難所とできるような準備をしてほしい。地域には高齢者も多いので、避難する時には高校生が頼りになる。 ・キャリア教育は大事なので、さらに力を入れてほしい。 ・AIは使い方によっては効果的なので、今後は使用を検討してほしい。 ・部活動については存続の問題があるので、総括してほしい。 	

(4) 現状 と 課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者に対しては引き続ききめ細やかな対応および指導が必要である。 ・一人ひとりを大切にしたい安心安全の学校づくりについて、教員間での情報や指導内容を共有できたが、さらにきめ細かい継続した指導が必要である。 ・生徒の学力の幅が広く、多様な生徒が在籍している。それぞれの学科やコースに応じた学習活動やキャリア教育などの充実が必要である。 ・現在は教科に委ねている観点別評価を管理職や教務部の教員がいつでも外部に説明できるようにする必要がある。 ・進路結果については個人情報を扱うという意識・観点をもち続ける必要がある。 ・図書館だよりや展示などの情報を発信しているが、必要な人へ届いていない。利用者が情報を手に取りやすい環境にすることが必要である。 ・体育祭やクラスマッチでは、クラスにより男女比や人数の偏りがあり、生徒の希望通りの種目を実施できていない。 ・避難経路に関して安全性が危惧される点がある。今後、より良い避難経路を検討したい。また、垂直避難訓練の実施も検討する必要がある。 ・昨年度はいじめの認知件数が10件に達した。被害生徒本人が精神的に嫌だと感じていることなどを中心に、今後も生徒が安心して通える環境を提供するため、アンケート実施をはじめとする未然防止や早期発見の取組を強化したい。 ・保健講話や教育相談研修などを継続して行い、生徒だけでなく教員の意識も向上させたい。 ・教科ごとに人権に関する内容を学習する機会を確認し、人権学習が特別に行うものではなく、日々学習するものとしていき、学習する機会を増やしていきたい。 ・南海トラフ巨大地震は、この地域全体の課題であり、探究学習などを中心に、地域と連携した活動を検討する必要がある。 ・授業を中心として、AIなどの時代の変化に対応し、生徒一人ひとりの力を高めるような体制を構築する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は教員個人の力に頼るところが大きいが、各教科の教員全員で教科のことをチェックしていけるような体制を構築する必要がある。 ・カウンセリング時間が足りない。利用希望者が非常に多くなっている。全日制と定時制とで分け合っていることもあり、カウンセラーにも負担がかかっている。 ・図書館や資料の活用を活発にするため、定期的に教職員に活用方法を発信する必要がある。 ・人権に関して対話する機会を増やし、人権問題を身近なことと捉えさせたい。 ・昨年度は時間外労働時間、定時退校日に定時退校できた割合ともに前年度より悪化した。教職員が1人配置されなかったことにより、それぞれの負担は増加した。教職員の負担と各取組の効果のバランスを考えながら、さらなる業務の見直し・削減を行う必要がある。 ・今後も経験の浅い教員が増えると予想されるため、個々の努力に任せるだけではなく、組織として教職員の資質の向上に取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科及び総合的な探究の時間等の授業を中心に、生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。 ・年間を通して多様な特別活動に取り組み、生徒一人ひとりと向き合い、規範意識を高める。 ・各教科、総合的な探究の時間及び特別活動等、教育活動全体を通じて、生徒一人ひとりに応じた進路保障に努める。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が連携して授業改善とキャリア教育を進め、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。 ・教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総務業務時間を縮減する。

	・地域等のニーズ把握と連携、PRに努め、教育活動を改善し、地域からの信頼を深める。
--	---

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<p>(参考：令和6年度入学生まで)</p> <p>【普通科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識を持つ生徒。 ・特に、明確な進路意識を持って、その実現のために努力を継続できる生徒。 ・学業が優秀であり、普通科での学習活動に真面目に取り組める生徒。 ・特に、共通教科を中心とした普通科での学習に取り組むために必要な基礎学力や興味・関心、学習意欲等を有する生徒。 <p>【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望動機が明確で、高校生活にしっかりとした目標・目的意識を持つ生徒。 ・学業が優秀であり、総合学科での学習活動に真面目に取り組める生徒。 ・特に、スポーツ活動や文化活動または生徒会活動等に取り組んできた経験や、それらについての優れた実績や能力があり、入学後もその活動を生かして学校生活を送ることができる生徒。
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>●2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりを大切にし、それぞれの状況を把握して、教員間で情報共有しながら指導にあたる。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談等を年3回以上実施する。 <p>●3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談や担当教員による生徒の観察を行い、生徒一人ひとりの状況を把握し、必要なことは学校全体で共有・対応する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回以上の面談と必要な全体共有を行う。 <p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが、学習を通して自己実現をとげるために、教科横断的に思考力・判断力を高める。そのためには、知識・技能は最低限必要なものだということをわかるようにする。以上の2観点を達成するために、3つ目の観点の「主体的に学習に取り組む態度」を大切にする。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を、生徒に意識させて授業を行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの成績がその指標である。 	<p>●2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月、7月に個人面談を行った。個々の生徒に対しては必要なときに面談を適宜行った。 <p>●3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月と7月に個人面談を実施した。個別に必要な生徒にはその都度面談を実施した。 <p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学期終了時点で1学期の成績と比較する。 ・2学期終了時点では、1学期よりも成績が下がっていた。 	

<p>キャリア教育の充実</p>	<p>●2学年 ・生徒一人ひとりの進路実現に向けて、学問調べ、学校調べ、仕事調べを行い、オープンキャンパス等を推奨して社会的自立を目指す指導を行う。 【活動指標】 ・個人面談等を年3回以上実施する</p> <p>●3学年 ・生徒一人ひとりが進路目標を設定し、その実現に向けた指導を通して卒業後のビジョンを持たせ、卒業させる。 【活動指標】 ・年3回以上の面談を通じ、生徒ひとりひとりの状況を把握する。総合的な探究の時間に進路探究活動を行う。</p> <p>●進路指導部 ・生徒のキャリア形成のために1学年から支援を行う。 【活動指標】 ・生徒へのキャリア情報の提供と重層的な面談を実施する。 ・担任団へのキャリア情報の提供及び支援を行う。 ・進路ガイダンスを年2回実施する</p> <p>●図書部 ・生徒の学力向上及び進路実現に向けた資料を収集し、利用促進を図る。 【活動指標】 ・学習参考書や問題集を提供する。受験に向けて必要な資料を展示する。 ・館外の情報発信を図る。 ・年10回以上の図書館だより・展示物等による情報共有を行う。</p> <p>●生徒指導部（生徒会） ・生徒が中心となって、学校行事を実行する。 【活動指標】 ・アンケート等を活用して、生徒の意見を収集し、学校行事等に反映する。</p>	<p>●2学年 ・総合的な探究の時間を活用して、進路探究の時間を持ち、生徒個々の進路実現に向けて探究活動を行った。選択登録の前には必要に応じて個々の生徒に対して面談を行った。</p> <p>●3学年 ・生徒面談は必要に応じて複数回行うことができた。1学期の総合的な探究の時間には、進路探究活動を行った。</p> <p>●進路指導部 ・生徒のキャリア形成のために継続的な支援を行った。 ・12月に2回目のガイダンスを実施した。</p> <p>●図書部 ・図書館だよりの教室・館外掲示、生徒の一人一台端末への配信を実施した。 ・展示（毎月） ・ブックリスト作成2回 ・学習参考書・進路に関する図書を更新した。</p> <p>●生徒指導部（生徒会） ・生徒会役員が中心となって、行事の内容や資料等を作成し、クラスの係や委員会も一緒になって運営することができた。</p>	
<p>一人ひとりを大切にしたい安全安心の学校づくり</p>	<p>●人権教育部 ・仲間づくりの輪を広げ、自分でだけでなく他人の人権も尊重する意識を育み、人権文化の確立に向けた学習を進める。 【活動指標】 ・人権学習を年3回実施する。（3学年は年2回） ・全校人権フェスティバルを年1回実施する。</p>	<p>●人権教育部 ・1学期は6月16日（月）、2学期は11月17日（月）、3学期は2月9日（月）に人権学習を実施した。 ・2学期の人権学習は公</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・公開拡大人権学習を年1回実施する。 ・人権アンケートを年2回実施する。 <p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して豊かな心を育む。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館や本に親しむ取り組みを行う。 ・図書委員会を運営し、生徒目線の活動を取り入れる。 ・年3回のイベントを開催する。 <p>●生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは許さないという学校風土を定着させる。また、未然防止・早期発見・早期対応を徹底する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめについての生徒アンケートを年3回以上実施し、その結果を分析・確認、教職員全体で共有する。 <p>●総務教務部（総務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震を見据えて、防災に対する意識を高め、実践的な防災教育を推進する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震津波避難訓練や防災に関する講話等を年3回以上実施する。 <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年がそれぞれのテーマで講演や講話の機会を持ち、命の大切さや自分自身を大切にすることについて考える。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年につき年1回以上実施する。 	<p>開授業で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月17日（水）に人権フェスティバルを開催した。 ・人権アンケートを1学期の当初と2学期の人権フェスティバルの開催前に実施した。 <p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員による教員対抗ビブリオバトルの運営、文化祭の参加、熊野市立図書館見学などを実施した。 ・イベントを3回開催した。 <p>●生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは3回実施した。 ・11月にはいじめ防止月間として「ピンクデイ」を2日間開催した。 <p>●総務教務部（総務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震津波避難訓練（4月）、火災避難訓練（12月）を実施した。 <p>●保健部</p> <p>（1）歯科講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12日に実施 対象2・3年生 「歯と健康 歯周病や口腔の病気について」 <p>（2）保健講話（思秋期講話）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月19日に実施 2年生「恋愛と妊娠・出産 避妊と性感染症」 3年生「ライフプラン・子どものある生活」 	
改善課題			
<p>●2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路探究については少し時間が足りなかったように思われる。次年度の1学期には十分時間を取って取り組み、個々の進路実現に向けて充実させたいと考える。 			

- 3学年
 - ・生徒一人ひとりが進路目標を設定し、その実現に向けた指導を行うためには、総合的な探究の時間における進路探究活動を、1年次から段階的かつ計画的に実施するなどの工夫と充実が求められる。
- 総務教務部（教務）
 - ・1学年の学習意欲を向上させる必要がある。
- 進路指導部
 - ・進学希望生徒は指定校での進学を希望することが多く、生徒の適性・将来設計を考えた結果であるか疑問が残るところがある。就職希望の生徒についても今年度は仕事内容検討や企業研究不足の結果と思える採用試験の結果が見られた。
- 図書部
 - ・図書館だよりや展示など毎月情報を発信しているが、読まれていない印象がある。利用者の来館を増やすことや、情報を手に取りやすい環境にすることが必要である。学習参考書の対応が不十分だったため、積極的に更新し、必要な人が使えるように注意したい。
- 生徒指導部（生徒会）
 - ・生徒が主体となって学校行事等を運営していくことができる環境を整備する必要がある
- 人権教育部
 - ・公開学習を全学年公開で実施したが、その後の事後協議の時間が十分に設けることができなかった。来年度は、2つの学年のみの開催（5限と6限）として、事後協議（6限終了後）の時間をしっかりと設けたい。
- 生徒指導
 - ・いじめ防止については、いじめアンケートや担任を中心とした観察・面談等で早期対応できた。いじめが起こらない風土の定着が必要である。
 - ・生徒の規範意識を下げないようにする環境整備が必要である。
- 教務総務部（総務）
 - ・避難経路に関して、安全性が危惧される点がある。よりよい避難経路（自動車道路の活用等）を今後検討したい。また、垂直避難訓練の実施を計画したい。
- 保健部
 - ・歯科講話・保健講話ともに今年度の内容は生徒の反応も良く、今後のライフプランを考える機会となった。来年度以降も内容の検討を重ねながらこの機会を継続して行きたい。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●総務教務部（教務） <ul style="list-style-type: none"> ・教科としてチームワークをもって教科指導にあたるとともに、教員一人ひとりが研鑽に努めるよう促す。そのため、他教員の授業参観を促進する。 【活動指標】 ・シラバス作成、教科書採択などを教科全員で実施する。 ・授業参観に行ったクラスを把握する。 【成果指標】 ・生徒の成績向上・模擬試験の結果の向上 ●人権教育部 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権意識を高めるため、校内研修を実施するとともに、校外研修の参加を促進する。 【活動指標】 ・人権教育推進計画に基づいた校内職員研修（年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ●総務教務（教務） <ul style="list-style-type: none"> ・必履修、必履修以外の科目について、すべての科目でシラバスを作成した。教科書採択においても、会議を開催した。 ・教員による授業参観はのべ23回だった。常勤の教員が30人いることを考えると、1人1回にみまない数字だった。 ●人権教育部 <ul style="list-style-type: none"> ・校内職員研修を8月27日（水）に実施した。 ・牟婁地区県立学校教職員人権教育研修会に、7 	

	<p>以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外研修の案内および参加の推奨を行う。 ・人権教育推進委員会を開催して、人権学習の指導案の協議などを行う。 <p>●教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対してのカウンセリングや生徒対応についての研修を行い、知識や技能の向上を目指す。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上実施する。 <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対して救急法の講習を実施する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上実施する。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼される学校・教職員であり続けるための取組を実践する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に体罰・セクハラ防止に関するアンケートを実施するとともに、教職員対象の校内研修を実施する。 ・不適切な事務処理等の事例を全教職員で共有する。 ・全教職員対象のコンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施する。 	<p>名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の指導案を委員会で協議をした。 <p>●教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月24日、校内研修を実施した。 <p>「特別支援教育について」</p> <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月25日(水) 教職員救急法講習会 <p>内容：AED操作など緊急の現場に出会ったときの対応・熱中症対策・緊急搬送について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月14日(月) 生徒救急法講習会 <p>すべての部活動代表者が講習を受け、AEDなどの蘇生法や熱中症者への対応などを学んだ</p> <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月にアンケートを実施した。職員会議等で体罰・セクハラ防止に関する資料などを使用して研修を実施した。 ・不適切な事務処理等の事例は全教職員に送信している。 ・コンプライアンス・ミーティングは2学期に実施した。 	
<p>情報提供による信頼の構築</p>	<p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に授業内容や学習活動充実のためのサポートを行い、学校図書館の活用を促進する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員用の利用案内を作成する。授業利用等、活用方法について定期的に情報を発信する。 <p>●総務教務部(情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを活用し、情報発信を行い、保護者や地域との連携の促進を図る。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間10回以上実施する。 	<p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりを全教職員に配信している。 ・教職員用利用案内、参考文献リスト(2回)を作成した。 <p>●総務教務部(情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で10回以上発信した。 	

	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関等への情報提供や取材依頼を通して、生徒の姿を中心に、本校の取組内容や成果について、積極的に情報発信を行う。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関に対して、年5回以上の情報提供や取材依頼を行う。 	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式、文化祭、体育祭、JR東海と連携した避難訓練、三重大学東紀州講座などを地元新聞に掲載された。 ・総合的な探究の時間、部活動の大会実績なども地元新聞等に掲載されている。 	
働きやすい職場環境づくり	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外労働時間の削減に引き続き取り組む。 <p>(1) 業務の削減・精選・効率化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校マネジメントシートの作成を通じて、それぞれの業務の目的・課題等について検討し、業務の見直し・改善を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間が月45時間および年間360時間を超える教職員が0人 ・一人当たりの平均時間外労働時間が月30時間以下 <p>(2) 定時退校日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を月1回設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日に定時退校した教職員の割合70%以上 <p>(3) 部活動休養日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の休養日を週1回以上設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養日を月4回以上実施した部活動の割合100% <p>(4) 会議時間の短縮</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議時間を60分以内にする。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60分以内に終了する会議の割合80%以上 <p>(5) 学校閉校日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校閉校日を年3回以上設定する。 	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下は12月末の時点での数値となっている。 <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間が月45時間を超える教職員は累計で89人、全教職員に占める割合は24.7%となっている。 ・一人当たりの平均時間外労働時間は29.6時間となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日は8月以外の月に1回ずつ設定している。 ・定時退校した教職員の割合は53.5%となっている。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動休養日はすべての部活で週1回以上設定している。 ・休養日を月4回以上実施した部活動の割合は100%であった。 <p>(4) 60分以内に終了した会議の割合は53.8%となっている。</p> <p>(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月13～15日の3日間を学校閉校日とし 	

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇以外の年休取得合計日数が平均15日以上 <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の要望に対して、アドバイスおよびサポートを行う。 	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇以外の年休取得日数は10.8日となっている。 <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜実施している。 	
--	--	--	--

改善課題

<p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員一人一人の専門性向上のための授業改善を進めたい。教員同士の授業参観については具体的な目標数字を掲げて、参加を促していきたい。 <p>●人権教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は差別事象が3件あったので、来年度は再発防止のため、校内人権研修を検討する。 <p>●教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援教育についての講演」は参加しなかった教職員もいたので、特別支援教育への意識向上を含め研修の必要性を呼びかけていきたい。 <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員への救急法研修を年に一度以上継続して行い、全教職員が必要な対応が実践できるよう意識向上と技術の習得に力を入れたい。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に発生した具体的な事例を紹介して、常に教職員の意識を最新の状態に更新していく必要がある。 <p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、資料、司書の活用をより活発にするため、定期的に教職員へ活用方法を発信していきたい。 <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一台端末の基礎的な対応を教員一人一人が対応できるよう、スキルアップを目指す。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の取組を知ってもらうために、地元新聞への情報提供は重要である。今後も積極的に発信していきたい。 ・時間外労働時間が月45時間を超える教職員の割合が4分の1近くなっている。一人当たりの平均時間外労働時間は少しずつ減ってきているので、さらなる業務削減の取組を進めていきたい。 ・定時退校した教職員の割合は、昨年度より少しだけ上昇している。定時退校しやすい日を設定できるように検討していく。 ・60分以内に終了した会議の割合は、約半数だった。会議の数は少ないので、1回の会議時間が長くなっている。会議の開催方法等を含めて検討する必要がある。 ・夏季休業以外の年休取得日数は10.8日となっている。さらに年休が取得しやすい環境を整える必要がある。
--

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成績が下がっていることについて、何が原因なのかを検証する必要がある。 ・進路のミスマッチについて、進学先の状況などは把握しているのか。また、離職率はどうなっているかなどを把握し、対策を講じる必要がある。 ・生徒会活動など生徒が主体的に活動することは大切である。これからも安心できる熊野青藍高校であってほしい。 ・学力だけではなく、人間性も高めるような学校であってほしい。
----------------------------	---

7 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状をしっかりと把握し、学習意欲を高めることによって、持続的な成績向上を実現する。そのためには、教務部が中心となって、学校全体で授業力の向上に努める。
---------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己決定と持続的なキャリア形成をサポートする進路指導を行うために、進路指導部が中心となって、学校全体で教員の指導力の向上に努める。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒がそれぞれの進路実現を図るためには、特別支援教育の充実が不可欠であり、生徒一人ひとりの可能性を最大限引き出すような教育活動を進める。 ・教員の長時間労働削減と業務の効率化を通じて教育の質を維持・向上させる必要がある。これによって、生徒一人ひとりへの丁寧な指導が可能になり、教育活動全体の向上につなげていく。